

22日臨技発第193号  
平成22年10月27日

厚生労働省大臣  
細川律夫 殿

社団法人日本臨床衛生検査技師会  
会長 高田 鉄也

#### 子宮頸がん予防ワクチン接種全額公費助成に関する要望

子宮頸がんを予防できるとされているワクチン接種は、子宮頸がんの約70%を予防できるとされており、11歳～14歳の女兒に接種することが最も効果的といわれています。

しかし、このワクチンは、3回の接種(初回、1か月後、6か月後)が必要で、接種に要する費用が約5万円とも言われ、高価なために一般への普及が困難な状況です。

このため、私ども社団法人日本臨床衛生検査技師会では、各都道府県技師会の協力のもと、全額公費負担による子宮頸がん予防ワクチンの接種の実現に向けて署名活動を行ったところ、33万余名の賛同をいただきました。

つきましては、貴職におかれては、これら趣旨にご賛同のうえ、要望の実現に向けご尽力いただきたく、お願い申し上げます。